

グループ事業

お客様のよりよい暮らしやビジネスの実現に向け、 当社グループならではの トータルソリューションをご提供します

東日本大震災以降、エネルギーに関するお客様のニーズや要望はこれまでにない多様化しています。こうした状況を踏まえ、当社グループは種々の革新的な商品やサービスを的確にご提案し、お客様のエネルギー管理をトータルでサポートすることで、お客様のお役に立つ取組みを推進していきます。

また、現在、国において検討が進められている電力システム改革に基づく小売全面自由化により、今後は価格競争やサービス競争などが進展すると思われませんが、当社は、将来にわたってお客様にお選びいただけるよう、従来の枠組みにとらわれず、企業革新を推進し、時代を先取りした業務の改革や新たなサービスの開発などに積極的に取り組んでいきます。

具体的には、多様化するお客様ニーズにお応えするため、当社グループは、エネルギー全体の省エネ・省コスト・省CO₂を実現し、お客様が効率的で快適にエネルギーをご利用いただけるようなご提案をしております。加えて、「総合エネルギー」「情報通信」「生活アメニティ」の3分野を中心としたグループサービスを組み合わせ、当社グループならではのトータルソリューションをご提供していきます。

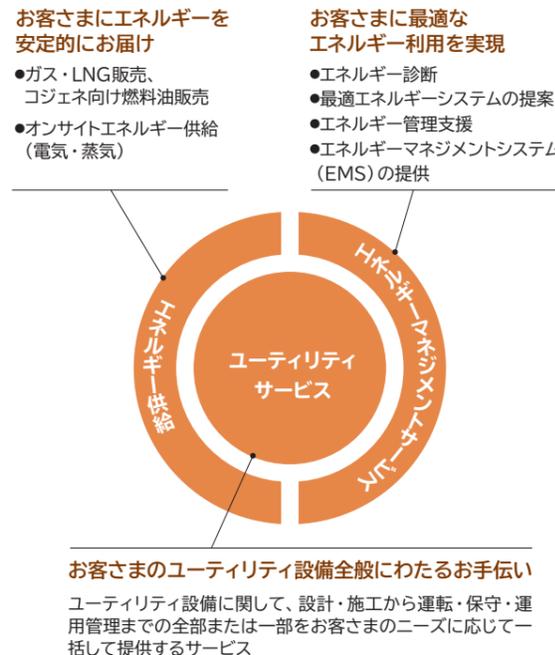
総合エネルギー事業

お客様の最適なエネルギー利用を実現するため、さまざまなエネルギーを総合的にご提供

エネルギーに対する「安全・安心」や「省エネ・省コスト・省CO₂」など、お客様のニーズはますます多様化しています。そうしたなか、当社グループは、電気の供給に加え、ガスやユーティリティサービスなどを組み合わせ、お客様にとって最適なエネルギー利用を実現するエネルギーソリューションを安全・安定的に提供しています。これらの取組みにより、お客様のエネルギーのベストパートナーとして信頼を得るとともに、総合エネルギー事業の成長に努めていきます。

そのため、当社グループは、お客様のユーティリティ設備（受変電・ボイラ・空調・自家発電設備など）の設計・施工から運転・保守・運用管理に至るまでを一括して提

供する「ユーティリティサービス」を中心に、ガスなどの「エネルギー供給」やエネルギー診断・管理支援などエネルギーの効率利用を図る「エネルギーマネジメントサービス」などを組み合わせ、お客様のエネルギー利用に関するあらゆるニーズにお応えしています。その結果、「ユーティリティサービス」は工場などの産業用分野だけでなく、オフィスビルや病院などさまざまな分野で、多数採用されるまでになりました。



情報通信事業

暮らしやビジネスに密着した魅力あるサービスのご提供

情報通信事業では、関西一円に構築した光ファイバー網を活用し、FTTHサービスを中心にお客様のニーズを先取りする幅広いメニューを取り揃え、お客様満足の一層の向上に取り組んでいます。

ご家庭のお客様には、「eo光」ブランドのもと、「光

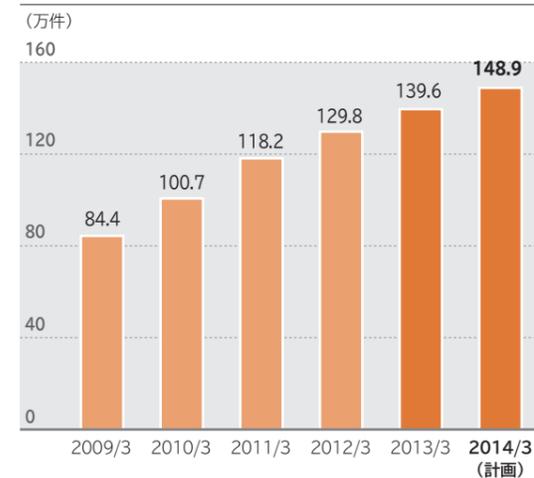
インターネット」「光電話」「光テレビ」の3つのサービスを一体的に提供するとともに、モバイルデータ通信サービス「eoモバイル^{※1}」の拡充を図るなど、ご家庭のライフラインとして幅広くご利用いただけるように努めています。その結果、同社のFTTHサービスは複数の外部機関による顧客満足度調査でも高い評価をいただいております。2013年3月末時点でのFTTH契約回線数は約140万件に達しています。

法人のお客様には、「BUSINESS光」ブランドのもと、高速インターネットやイーサ専用線^{※2}、VPNサービス^{※3}、モバイル通信、光電話などの各種通信サービスを提供するとともに、データセンターを活用したソリューションを提案することで、お客様のビジネスに貢献しています。

今後も、FTTHサービスを中心としたネットワーク事業や、企業向けITインフラ・トータルソリューション事業の強化に努め、お客様の暮らしとビジネスに密着した魅力あるサービスを提供し、情報通信事業を電気事業に次ぐ収益の第二の柱となるよう、その拡充に取り組んでいきます。

- ※1 eoモバイル：関西一円に展開する独自の「公衆無線LANサービス」や最大21Mbpsの「3Gサービス」などをラインナップするモバイルブロードバンドサービス。
- ※2 イーサ専用線：企業ネットワークで利用されるLAN機器と親和性の高いイーサネット方式による専用回線サービス。
- ※3 VPNサービス：多種通信網（イーサ網・IP網・インターネット網）を活用し、暗号化や認証技術を用いて保護された仮想的な専用ネットワークで多地点を接続するサービス。

■FTTH契約回線数の推移



生活アメニティ事業

お客様の暮らしのベストパートナーをめざし、安全安心・快適便利な暮らしをご提案

生活アメニティ事業では、安全安心・快適便利な暮らしのお役に立つさまざまなサービスのご提供を通じ、お客様のより身近な存在となり、多様なニーズにお応えす

ることによって、お客様が当社グループを暮らしのベストパートナーと感じていただけるように努めています。

暮らしに関連するサービスにおいては、ホームセキュリティや介護、健康管理支援、給食、家事代行など、お客様の暮らしに密着したサービスを提供しています。

今後も、お客様の多種多様なライフステージやライフサイクルに合わせて、よりよい暮らしをサポートするきめ細やかなサービスの充実に取り組んでいきます。

不動産関連サービスでは、低炭素社会にふさわしい、先進モデルとなる省エネ・省コスト・省CO₂のマンションやビルにグループの商品・サービスを組み合わせた高品質の住宅やオフィスを提供しています。また、住宅性能評価や住宅設備機器の販売、リフォームといったサービスを合わせて提供し、快適な住まいづくりをサポートしています。

今後もお客様の省エネ・省コスト・省CO₂に貢献する住宅を安定継続的に供給していくため、デベロッパーなどとのネットワークをより一層強化し、複合開発案件や戸建ての大規模開発にも取り組んでいきます。

暮らし・不動産関連サービス



ロジマンタワー梅田（MID都市開発株）



ベルバージュ奈良あやめ池（株かんてんジョイライフ）

国際事業

国内の電気事業で培った経営資源を積極的に活用し、 国際事業を推進します

国際事業では、「経営資源の活用とフィードバック」「海外相手国の電力安定供給への貢献」「地球環境問題への貢献」をコンセプトに事業を展開し、将来にわたる安定した収益確保に加え、国際事業を通じて得られた経験・知見などを国内事業へフィードバックすることで、国内事業の強化、さらなるグループの成長につなげていきます。

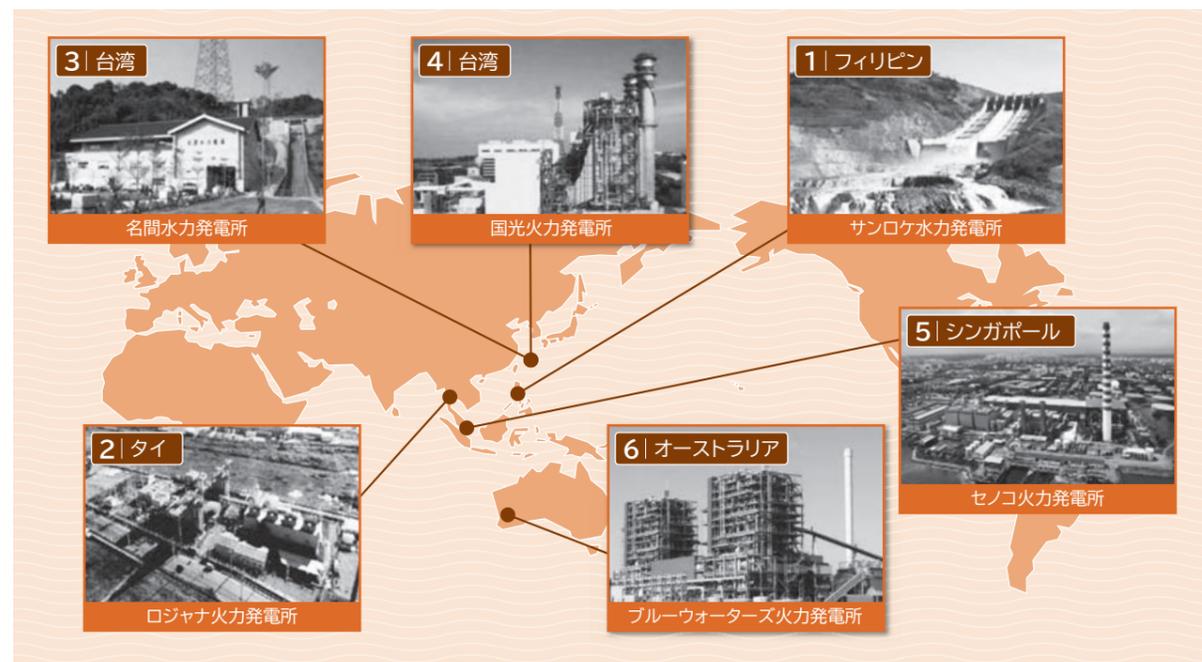
国際事業の主な活動

■プロジェクト参画やコンサルティング、 自主開発プロジェクトなどを展開

当社の国際事業は、1998年にフィリピンのサンロケ水力発電プロジェクトへの参画から始まりました。2003年の竣工以来、同国の電力インフラ整備および地球温暖化対策の面で貢献しており、2009年には出資比率を引き上げ、安定した配当を得ています。

■海外IPP事業一覧(2013年7月末現在)

プロジェクト名(容量)	地域	概要	パートナー	出資比率(持分容量)	運転開始
1 サンロケ水力(34.5万kW)	フィリピン	ダム式水力	丸紅	50%(17.3万kW)	2003年5月
2 ロジャナ火力(33.6万kW)	タイ	ガスコンバインドサイクル コージェネレーション	Rojana Industrial Park, 住金物産	39%(13.1万kW)	1999年5月
3 名間水力(1.7万kW)	台湾	流れ込み式水力	Dong-Jin(東錦)	26%(0.4万kW)	2007年9月
4 国光火力(48.0万kW)	台湾	ガスコンバインドサイクル	CPC(台湾中油) TCC(台湾汽電)	20%(9.6万kW)	2003年11月
5 セノコ火力(330.0万kW)	シンガポール	ガスコンバインドサイクル/ 石油火力	丸紅、九州電力、 JBIC、GDF Suez	15%(49.5万kW)	1976年3月 (初号機運転)
6 ブルーウォーターズ火力(45.9万kW)	オーストラリア	石炭火力	住友商事	50%(22.9万kW)	2009年12月



そのほか、2008年のシンガポールのセノコ社の株式買収に続き、2009年にはタイのロジャナ・パワー社を通じて小規模熱電併給事業の売電契約をタイ電力公社と新たに締結しました。さらに、2013年2月にはオーストラリアのブルーウォーターズ火力発電所を買収するなど、順調に発電資産を増やしています。

また、コンサルティング業務では、東南アジアを中心に、将来的にIPP事業につながり収益を確保できる案件を精査し、戦略的な活動を進めています。

こうした事業展開に加え、案件の発掘の段階から手がける自主開発プロジェクトも推進しています。具体的な案件としては、インドネシアで進めているラジャマンダラ水力案件や、ラオスからタイへ電気を販売するナムニアップ水力案件などがあり、ともに2013年8月に売電予定先と売電契約を締結するなど、早期着工をめざし、事業化を鋭意進めているところです。

■業務の品質向上に向けた技術支援を継続実施

参画プロジェクトでは、経営面に加え、当社グループの強みである技術面の支援も積極的におこなっています。すでにタイ、フィリピン、シンガポール、オーストラリアのプロジェクトでは当社従業員が現地に駐在し、発電設備の技術指導などに携わっています。

具体的には、シンガポールのセノコ火力発電所では既存の発電設備を高効率化するリパウリング工事(2012年竣工)に技術者を派遣し、工程管理をはじめとする業務の改善や品質向上を図っています。また、フィリピンのサンロケ水力発電所では管理監督者や運転保守員を対象に、将来のオーバーホールに向けた技術教育プログラムを毎年実施しています。



サンロケ水力発電所(フィリピン)

■中東や北中米など活動エリアを拡大

今後は、現在進出しているアジアに加え、中東・北中米などへも活動エリアを拡大し、新規IPP事業の入札・相対交渉や既存案件の買収、先進国での再生可能エネルギー案件への参画など、リターンが確実でリスクが少ない優良案件を厳選して開発をおこないます。また、将来、案件の事業規模が拡大することを見据え、事業開発・管理体制の充実を図っていきます。

国際交流・貢献活動の主な内容

当社は世界の主要な電力会社で構成するGlobal Sustainable Electricity Partnership(旧e8、世界電力首脳有志の会議)のメンバーであり、電気事業に関するグローバルな問題について解決を図るため、さまざまな活動を進めています。

具体的には、ブータンで、未電化の村に流れ込み式小水力発電所を建設し、2005年、日本の電力会社に関わるプロジェクトとして初めて国連から「クリーン開発メカニズム(CDM)」の認定を受け、すでにCO₂クレジットも発行されています。

また、地球温暖化などの影響で海面が上昇し、水没の危機に瀕しているツバルでは、2008年に太陽光発電設備を設置しました。その後2年間は、設備のモニタリングや運転支援を続け、当社の技術やノウハウの伝承に努めました。こうした取組みによっても、持続可能なエネルギー開発の促進に努めています。

さらに、太平洋島嶼国の電力会社を対象に、再生可能エネルギーや省エネルギーに関するワークショップを2005年から継続して開催しています。2012年のワークショップは、エネルギー利用の効率改善をテーマとしました。また、ネパールにおいても2012年12月に太陽光発電をテーマとする技術ワークショップを開催しました。

このように当社グループは、世界各地でプロジェクトに参加し、専門家の育成や技術移転、また、地球環境問題の解決に向け貢献していきます。



ツバルでの太陽光発電プロジェクト



ネパールで太陽光発電に関する技術ワークショップを開催